

股・膝関節の人工関節置換術施行患者 に対する早期リハビリテーション実施率



測定対象

《分子》 分母のうち、手術当日から数えて 4 日以内にリハビリテーションが行われた患者数

《分母》 股・膝関節の人工関節全置換術を施行した退院患者数

解説

人工関節全置換術後の過度な安静は、廃用症候群や深部静脈血栓症を引き起こす原因となります。こうした術後合併症を防ぎながら、早期に日常生活動作を再獲得するため、術後はできるだけ早くリハビリテーションを開始することが重要です。

結果

2019 年度 98 %

2018 年度 97 %

分析

目標となる 100%に近い早期リハビリテーション実施率を達成することができました。早期離床とリハビリテーションの実施は手術直後の合併症回避と日常生活動作の獲得につながります。2018 年、2019 年とも肺梗塞などの重症合併症は発生せず、入院計画通りの入院期間で治療を行うことができました。今後は 100%を目指したいと思います。